

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

<b>1 前年度 評価結果の概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒支援員を中心に人権・同和教育の充実を図り、職員・生徒の人権意識を高め、共感的理解をもって互いを尊重し合う風土を醸成してきたことで、学力向上の土台となる学習集団としての成長が見られた。また、学校生活の充実感や保護者の安心感を向上させることができた。</li> <li>ラーニングマウンテンを取り入れ、授業の繋がりを意識した単元づくりを進めることができた。見通しをもって学習に取り組ませたことで、学習の成果や課題を生徒自身が自覚しながら次の学習に繋げることができた。</li> <li>未来の自分をイメージし、日々の学校生活や各種体験活動を通して、今の自分に必要な課題を見つけ、自主的・実践的な解決に取り組もうとする生徒が多く見られるようになった。</li> <li>人権・同和教育の充実とともに、不登校対応や教育相談、特別支援教育、安全教育に関する環境整備や職員研修にも重点を置き、安定した学級集団づくりを目指しながら、「個別最適な学び（指導の個別化・学習の個性化）」を更に推進し、学力の向上につなげていく。</li> </ul>
--------------------------	---

<b>2 学校教育目標</b>	<p>「しなやかに・自分らしく・あなたらしく」 ~いつも、人から~</p> <p>【知】知性を磨く 【徳】心を育む 【体】体と命を守る</p>
-----------------	---

<b>3 本年度の重点目標</b>	<p>【いつも、人から】（学校経営の4本柱：自己肯定・生徒理解・人権保護・連携）</p> <p>①《知性を磨く》：ラーニングマウンテン・わかる授業の工夫・真正の学び ②《心を育む》：自己肯定感UP、自己回復力UP、おもいやりのある人間関係UP</p> <p>③《体と命を守る》：心身の健康づくり・安全教育の推進・いじめ、差別のない環境 ④《地域とつながる》：地域との連携行事・小中連携、外部機関との協力・地域人材の活用</p>
-------------------	---

**4 重点取組内容・成果指標** 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標（数値目標）								
●学力の向上	○校内研究を踏まえた指導法の工夫・授業改善	○校内研究を踏まえた指導法の工夫・授業改善に取り組んだ教職員が90%以上	・真正の学びを背景としたパフォーマンス課題を取り入れた授業に取り組む ・教職員が授業実践を紹介し合うことで、生徒の様子や指導法等についての情報交流・意見交流を行う							学力向上担当 指導法改善担当 校内研究担当 児童生徒支援員
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○特別の教科道徳や人権・同和教育に関する授業が自分を成長させるために役立っていると感じている生徒が90%以上	・児童生徒支援員と各学年団が協力して、特別の教科道徳の授業づくりや実践を推進する ・児童生徒支援員の協力のもと、人権学習や部落問題学習の授業実践に取り組む							道徳教育担当 人権・同和教育担当 児童生徒支援員
	●いじめの未然防止、早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等（いじめの定義、いじめ防止等のための取組、事案対処等）について、組織的な対応ができていると回答する教職員が90%以上	・年度当初にいじめの認知・覚知について共通理解を図る場を設ける ・生徒指導主事、教育相談担当者を中心として、情報共有や対応等の協議を迅速に行う							人権・同和教育担当 生徒指導担当 教育相談担当 児童生徒支援員
●健康・体づくり	●◎生徒が夢や目標をもち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●◎「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した生徒80%以上 ●◎「将来の夢や目標をもっている」として肯定的な回答をした生徒80%以上	・生徒の日常を丁寧に観察し、生徒のよい言動を掲示板に掲示して紹介する ・自己肯定感アンケートを定期的に実施することで、生徒の現状や変容を把握し、教職員間で情報共有を行う							学年主任 生徒会担当
	●望ましい生活習慣の形成 ●安全に関する資質・能力の育成	○時間の使い方を意識して生活している生徒が80%以上 ○安全や身を守ることへの意識が高まった生徒が80%以上	・時間や期限を意識させる指導を継続し、家庭と連携して時間の使い方について見通しをもたせることで、タイムマネジメント力を向上させる ・講師招聘による安全・防災・情報モラル教室等を実施する							学年主任 生徒指導担当 学力向上担当 児童生徒支援員
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する ●年間20日の年次休暇のうち、年次休暇の取得の平均が10日以上	・定時退勤日の設定 ・学校閉庁日の設定 ・部活動休養日の設定と、複数顧問制による負担軽減 ・年次休暇取得の推進に向けて、先の見通しをもてるような週案提示や、時間割の工夫							教頭 教務主任
●特別支援教育の充実	○生徒・保護者のニーズに応じた教育活動の展開	○特別支援学級や不登校の生徒・保護者の学校教育に対する満足度80%以上	・2名の特別支援教育コーディネーターを中心として、教職員・保護者間の情報共有を密にし、生徒の成長を促す ・全職員で生徒理解・保護者理解に努め、適切な支援・指導をすることで、個に応じた教育環境の整備や教育体制の充実を図る							特別支援教育コーディネーター 教育相談担当 児童生徒支援員

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標（数値目標）								
◎志を高める教育	○ウェルビーイングの視点をもった教育活動の推進	○「自分や友だちのよさを認め合い、互いの思いや考えが大切にされている」として肯定的な回答をした生徒が80%以上	・校内研究や生徒指導、教育相談、特別支援教育、人権・同和教育を推進し、学ぶ喜びや、人とつながる喜び、成長を感じる喜び等を感じられる教育活動を展開する							生徒会担当 学年主任

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

<b>5 総合評価・次年度への展望</b>	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
-----------------------	----------------------------